

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	流動の相互関係創出を目的としたコミュニティ拠点創り「信州塩尻中山道贄川 宿場 noie 坂勘」
事業主体 (連絡先)	信州移住計画 代表 辰巳和生 090-5992-2206
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,801,167 円 (うち支援金: 1,374,000 円)

事業内容

塩尻市贄川において「地域のいばしょ」「地域接点の場」となる【宿場 noie 坂勘】の拠点整備を実施し、地域コミュニティを創出。

- ・坂勘 DIY Day イベント 4月～9月
- ・DIY 施工 10月～12月
- ・シェアごはんなどの交流イベント



【餅つき会の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

◎2019年度は主に交流の中心となるリビングキッチンの改修をDIYで行い、述べ200名の参加者を集め地域内外を巻き込むコミュニティが生まれた。

◎坂勘が持つ4つの機能=シェアハウス/民泊/ローカル公民館/地域起業の場のうち、シェアハウスは2020年年明けより運営を本格的に始動、3月時点で移住者を含む4名の入居に至った。

◎シェアごはんや交流イベント、見学者などの日常流入者の合計者数は2019年度の概算で480名となった。地域流入が日頃より少なく、地域住人同士の交流も希薄となっている贄川地域にとっては、坂勘が交流の場となり、古くからの歴史ある元旅館は地域のアイコンとなりつつある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2020年度は、坂勘が持つ4つの機能の「地域起業の場」創出を中核とし、引き続き、民泊事業、ローカル公民館を元気づくり支援金事業として実施いたします。

シェアメイトを含む地域での起業を考える人たちの拠点整備～ビジネスの伴走～ビジネスの実施を通じて、地域住人との接点をより強めていきたいと考えています。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ◎塩尻市において全県にスケールできる「リアル地域活性モデル」を創出する
- ◎そのためにまずは「地域流動の三要素」=「ベット(入口)」「リビング(棲家/コミュニティ)」「ワーキング(生業/仕事)」の創出が地域活性の始点として定義
- ◎塩尻市においてもっとも欠けているリビング機能を坂勘にて創出する
- ◎そのために「地域のいばしょ」「地域接点の場」となる拠点整備を実施する

※自己評価【A】

【理由】

- ・拠点整備を行う中ですでに多くの地域内外を含む人の流動と交流を生み出した
- ・事業開始時に目標としていたシェアハウス入居者数に至った
- ・地域住民に坂勘の活動が認知された